



平山郁夫さんの版画など70点 被災地支援へ展示販売

日本画家・平山郁夫さんの作品の版画などを集めた展示販売会が5日、福知山市の市民交流プラザふくちやまで始まった＝写真＝。収益は東日本大震災の被災地支援などに役立てる。8日まで。

福知山

「パルミラ遺跡に行く夜」「万葉月華図」といった平山さんの作品の版画など40点のほか、東山魁夷さんや小倉遊亀さんらの作品の版画など30点も並ぶ。会場には画集なども置いている。

平山郁夫の名画を展示

市民交流
プラザで

複製の版画や巧藝画

日本画家で、文化勲章を受章した平山郁夫(1930~2009)が、福知山市駅前町の



「パルミラ遺跡に行く」などの作品を展示している

市民交流プラザで開かれている。8日まで。入場無料で、作品は販売もしている。

絵画展の企画などを手掛ける「ほるぷエーアンドアイ」(大阪府枚方市)が主催し、福知山東ライオンズクラブが後援。

今回はシルクロード、仏教伝来、平和への祈りをテーマにした作品40点を展示している。巧藝画「パルミラ遺跡に行く」は、シリアの古代遺跡をバックに、砂漠を進む隊商を描写。版画の技法の一つであるシルクスクリーンの多色刷りで、幻想的な情景を表現している。

また、平和への祈りを込めて、唐代の中国

の僧、玄奘三蔵を描いた巧藝画「仏教伝来」や木版画「薬師寺東塔」、巧藝画「万葉月華図」なども並び、訪れた人たちがじっくりと鑑賞している。

このほか、日本画家の横山大観の版画や清水寺の森清範貫主の書なども展示されている。

開催時間は午前9時30分から午後5時30分まで。作品の販売収益の一部は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の東日本大震災子ども支援募金と、福知山東ライオンズクラブを通じて、人類の福祉に貢献することを目的に設立されたLCIF基金(ライオンズクラブ国際財団)に寄付する。